

会長

吉原毅（城南信用金庫相談役）

顧問

小泉純一郎（元内閣総理大臣）

細川護熙（元内閣総理大臣）

副会長

中川秀直（元自由民主党幹事長）

島田晴雄（慶應義塾大学名誉教授）

佐藤彌右衛門（全国ご当地エネルギー協会会長）

幹事長・事務局長

河合弘之（脱原発弁護団全国連絡会共同代表）

幹事長補佐

栢沼雄二（城南信用金庫企画部長）

事務局次長

木村結（東電株主代表訴訟事務局長）

幹事

鎌田慧（ジャーナリスト）

佐々木寛（新潟国際情報大学教授）

香山リカ（立教大学教授）

三上元（元静岡県湖西市長）

永戸祐三（ワーカーズコープ理事長）

賛同人

飯田哲也（認定NPO法人環境エネルギー政策研究所所長）

下村満子（元朝日ジャーナル編集長） 海渡雄一（脱原発弁護団全国連絡会共同代表）

金子勝（慶應義塾大学教授） 福岡正夫（慶應義塾大学名誉教授）

古川亨（慶應義塾大学教授・元日本マイクロソフト会長）

原田博夫（専修大学教授） 鹿嶋春平

太（明治学院大学名誉教授・宗教社会学者）

楠達史（Abalance株式会社独立社外取締役）

小宮武夫（ウェルフェア株式会社代表取締役）

福山真劫（平和フォーラム共同代表）

柳田真（たんぽぽ舎共同代表）

吉岡達也（ピースボート共同代表）

近江屋信広（NPO法人地域力創生プロジェクト相談役）

協賛企業

城南信用金庫、パルシステム生活協同組合連合会、生活

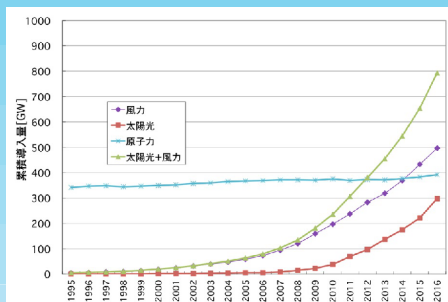
クラブ事業連合生活協同組合連合会、株式会社カタログ

ハウス、ワーカーズコープ、パタゴニア日本支社、WW

B株式会社、株式会社サンコー等多数

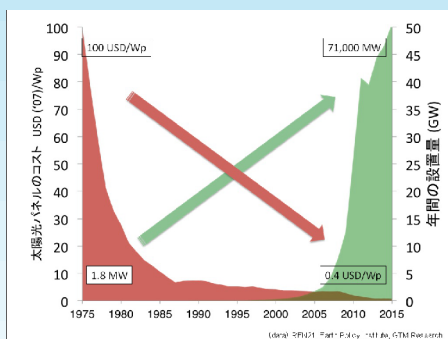
世界の潮流は脱原発

太陽光発電+風力発電で 原発設備容量の2倍を超えた！



2015年には風力発電の設備容量が原発を超えました。2017年中には太陽光発電も超える見込みです。

世界の太陽光発電は コスト低下&市場拡大へ



アメリカなど世界各国では太陽光による発電コストが電気料金を下回り、今後は更に爆発的な普及が見込まれています。

原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟



原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟

〒160-0003 東京都新宿区本塩町7-7新井ビル3F

TEL 03-6883-3498 FAX 03-6709-8712

*カンパでのご支援もよろしくお願い申し上げます。
下記口座にて随時受け付けています。

城南信用金庫 営業部本店 普通預金 849353

原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟

WEB <http://www.genjiren.com/>

✉ genjiren2017@gmail.com

🐦 @genjiren2017



志はひとつ！
手をつなごう、
未来のために。

原発ゼロ・自然エネルギー推進を志す 団体・個人の方は「原自連」にご参加ください！

東 日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故を通じて、私たち国民は、原発が人類にとって非常に危険であることを学び、事故から6年以上が経過した今もなお、全国各地で脱原発や自然エネルギー推進に向けた活動が熱心に行われておりますが、こうした活動の多くは、各々独自の路線をとっており、相互の連携が図れていないのが現状です。

こ うした中で、今後より一層、脱原発や自然エネルギーの推進に向けた国民運動を展開していく上では、全国各地で取組んでいる活動が各々の独立性を相互に尊重しつつ一致団結し、お互いに連携協力していくことが重要であると考え、今回、思想や信条を問わず、原発ゼロと自然エネルギー推進を志すすべての個人や団体が集結した「原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟」が創設されることとなりました。



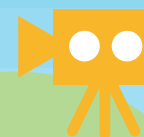
活動内容

講演会活動



小泉純一郎さんなどのメンバーを、原発立地自治体の登録団体優先で派遣します。交通費、講演料は無料とし、主催者は会場費や宣伝費などを負担します。他の講演会などの予定もあるため調整は事務局が行います。

上映活動



映画『日本と原発』『日本と再生』ダイジェスト版の上映とシンポジウムのセットも無料で提供します。会場費や宣伝費は主催者負担とします。パネラーとしては、佐藤彌右衛門さん、三上元さん、飯田哲也さん、河合弘之さんなどを派遣します。

脱原発大賞 & 自然エネルギー大賞



脱原発大賞 & 自然エネルギー大賞を設けます。自薦他薦を問わず優れた団体を顕彰し、副賞として賞金（大賞20万円、次点10万円、次次点5万円）を団体に授与します。

脱原発訴訟の支援と情報交換



「脱原発弁護団全国連絡会」と財政的支援も視野に入れて連携していきます。各地の原発差し止め訴訟において弁護団が集積してきた資料や知見を共有化し、脱原発・自然エネルギー推進のための運動に役立てます。

